

第8回東北風景街道協議会 開催結果の概要

日時:平成24年3月7日(水) 15:00～17:30
会場:エル・パーク仙台 6階 ギャラリーホール

協議会では、平成24年度に実施した東北風景街道パネル展及びアンケート調査の結果について報告がなされた後、各ルートのパートナーシップから個別に活動報告をしていただき、各々の新たな取り組み等についての問題・課題等に対して、協議会委員より指導・助言が行われました。さらに、本年度からビューポイント・景観、滞留拠点、広報PR、協議会特別の4部門に分けて表彰を実施することとなり、エントリーした各パートナーシップの審査及び表彰を行いました。



【協議会の様子】

1. 平成23年度の活動報告

平成23年度の主な活動としては、東北風景街道パネル展及びアンケート調査、各ルートにおける活動の自己分析が実施されました。事務局からパネル展及びアンケート調査結果、各ルートにおける活動の自己分析結果について報告がありました。

2. 平成24年度の活動計画

平成24年度の活動計画案として、パネル展及びアンケート調査を引き続き実施すること。各パートナーシップに対しての表彰の継続実施すること。「黄花紅の東むつ湾ルート」の現地視察を行うこと等、5項目について事務局から提案され承認されました。

3. パートナーシップからの活動報告及び委員からの指導・助言

パートナーシップから平成23年度に新たに開始した取り組みや内容が充実してきている取り組みについての問題や課題を発表していただき、それに対して協議会委員より、今後活動する上でのアドバイスをしていただきました。



【協議会委員からのアドバイス】



【各団体からの活動計画の報告】

4. 表彰結果発表

協議会委員による審査の結果、以下のルートが表彰された。

○ビューポイント・景観部門

「のしろ白神の道」…地元の資源である秋田杉を活用することにより地元らしさを演出し、そこでしか体験できない地域資源の魅力があふれている。また、維持管理による良好な景観の創出や剪定作業の技術者養成は今後の取り組みの継続性が見られ、他の模範となるものと評価される。

「黄花紅の東むつ湾ルート」…道を魅力的にする景観整備であり、来訪者を楽しい気持ちにさせたい姿勢が感じられる。また、継続的な作業の取り組み姿勢も他の模範となり評価される。

○滞留拠点部門

「桑折宿まちなか街道」…歴史的建造物の有効活用やボランティアによる来訪者との交流などは、訪れた人をもてなしたい、楽しませたいという姿勢が強く感じられ、地域活性化や観光振興へも寄与しており評価される。

「城下町あいづ道草街道」…にぎわいやおもてなし、くつろぎ空間として楽しく休める滞留拠点を道路に創出しており、商店街の活性化や観光振興に寄与しており評価される。

○広報PR部門

「のしろ白神の道」…積極的な広報活動が行われており、ホームページ内容も参加者の感想を掲載するなど内容が充実している。また、地元イベントへの協力も積極的に行われており、地域振興へもつながっている。さらには、コストをかけずに手づくり感のある情報発信は他の模範となり評価される。

○協議会特別部門

「ふくしま浜街道ハッピーロード」…清掃活動は地道な取り組みであるが、清掃規模や参加規模が大きく地域貢献度が高い。また、中高生を中心とした活動により、道路への愛着や道路の景観を考える思いを育成することへもつながっており評価される。

「出羽の古道 六十里越街道」…多くの関係者の取り組みの輪が沿線市町村連携した幅広い活動展開となっており、新たな観光資源の創出や歴史ある街道を中心とする地域観光振興へ寄与した長年の取り組みが評価される。



【表彰式の様子】



【集合写真】